

まふ-さっと MAFF-SAT活動記録

(農林水産省サポート・アドバイス・チーム)



展示期間

令和7年5月7日(水)
～5月30日(金)

展示場所

近畿農政局庁舎 1階
「消費者の部屋」展示コーナー

※ 詳しくは近畿農政局ウェブサイトをご覧ください。

近畿農政局「消費者の部屋」

まふ-さっと MAFF-SAT活動記録 (農林水産省サポート・アドバイス・チーム)



MAFF-SATとは

MAFF-SAT(農林水産省サポート・アドバイス・チーム)は、農地・農業用施設(ため池、頭首工、水路、揚水機、道路、橋梁等)が被災した際、被災地に農林水産省の職員を派遣し、迅速な被害状況の把握等や早期復旧に向けた支援を行う仕組みです。

支援の内容

都道府県・市町村等からの要請により派遣を行うほか、災害の規模(深刻さ、広さ)等によりプッシュ型で派遣を行います。

災害の発生

①初期情報収集

①今後の支援の必要性を判断するため、被災の範囲・規模、応急対策の必要性、被災自治体の要望等に関する基本情報の把握を行います。

②緊急概査

②農地・農業用施設の被災状況(箇所、面積)の把握や被害額の算出等に関する支援を行います。

③技術支援

③被災した農地・農業用施設の応急対策の実施や災害復旧計画の工法の検討等に関する技術的な支援を行います。

本格復旧着手

今回の「消費者の部屋」展示では、MAFF-SAT(まふ-さっと)の活動として、近畿農政局職員の能登半島地震での復旧支援活動等について、パネル展示でご紹介します。

開催日時：令和7年5月7日(水)～5月30日(金)8時30分～17時
(土・日を除きます。初日は13時から、最終日は正午までとなります。)

開催場所：近畿農政局庁舎 1階「消費者の部屋」展示コーナー
京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町
市営地下鉄「丸太町」駅下車 徒歩約15分(京都府庁西隣り)

【問い合わせ先】

消費・安全部消費生活課

担当者：千田、高橋

電話：075-414-9771(直通)

農村振興部防災課

担当者：堀口

電話：075-414-9562(直通)

農林水産省
近畿農政局

MAFF-SAT活動記録

農林水産省 サポート・アドバイス・チーム

Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries - Support Advice Team

ま ふ さ っ と MAFF – SAT (農林水産省サポート・アドバイス・チーム)

MAFF – SATとは

MAFF – SAT (農林水産省サポート・アドバイス・チーム) は、農地・農業用施設(ため池、頭首工、水路、揚水機、道路、橋梁等)が被災した際、被災地に**農林水産省の職員を派遣し、迅速な被害状況の把握等や早期復旧に向けた支援**を行う仕組みです。

支援の内容

災害の発生

都道府県・市町村等からの要請により派遣を行うほか、災害の規模(深刻さ、広さ)等により**プッシュ型で派遣**を行います。

① 初期情報収集

① 今後の支援の必要性を判断するため、被災の範囲・規模、応急対策の必要性、被災自治体の要望等に関する**基本情報の把握**を行います。

② 緊急概査

② 農地・農業用施設の**被災状況(箇所、面積)の把握**や**被害額の算出**等に関する支援を行います。

③ 技術支援

③ 被災した農地・農業用施設の**応急対策の実施**や**災害復旧計画の工法の検討**等に関する技術的な支援を行います。

本格復旧着手

近畿農政局の派遣実績(令和6年)

令和6年は能登半島地震におけるMAFF-SATとして、近畿農政局からは職員77名(延べ890名・日)を石川県と富山県の市町等に派遣し、災害復旧の支援を行いました。

令和6年能登半島地震における近畿農政局職員のMAFF-SAT活動

令和6年能登半島地震の概要

- ・石川県能登地方において、令和6年1月1日16時10分頃にマグニチュード7.6（最大震度7）の地震が発生。その後も断続的に余震が発生。
- ・農林水産関係の被害総額は6県（新潟、富山、石川、福井、長野、岐阜）で約3,764.3億円。
※令和7年3月31時点/農林水産省

農地・農業用施設の被害状況

- ・農林水産関係被害のうち、農地・農業用施設にかかる被害額は、6県（新潟、富山、石川、福井、長野、岐阜）で約1,481.3億円。
※令和7年3月31時点/農林水産省

区分	施設等	被害数	被害額	被害地域
農地・ 農業用施設	農地	4,208 箇所	123.7億円	新潟、富山、石川、 福井、長野、岐阜（6県）
	農業用施設（集排等 生活関連施設を除く）	9,744 箇所	893.0億円	
	小計		1,016.7億円	
その他施設	集排等生活関連施設	135 箇所	464.6億円	新潟、富山、石川（3県）



被災状況（亀裂の入った農地）

近畿農政局職員の派遣場所

- ・石川県：七尾市、中能登町、珠洲市、能登町、志賀町、
ほだつしみず、わじま、つばた、あなみず、はくい
宝達志水町、輪島市、津幡町、穴水町、羽咋市
- ・富山県：氷見市、南砺市
- ・北陸農政局（石川県金沢市）

派遣時期・人数

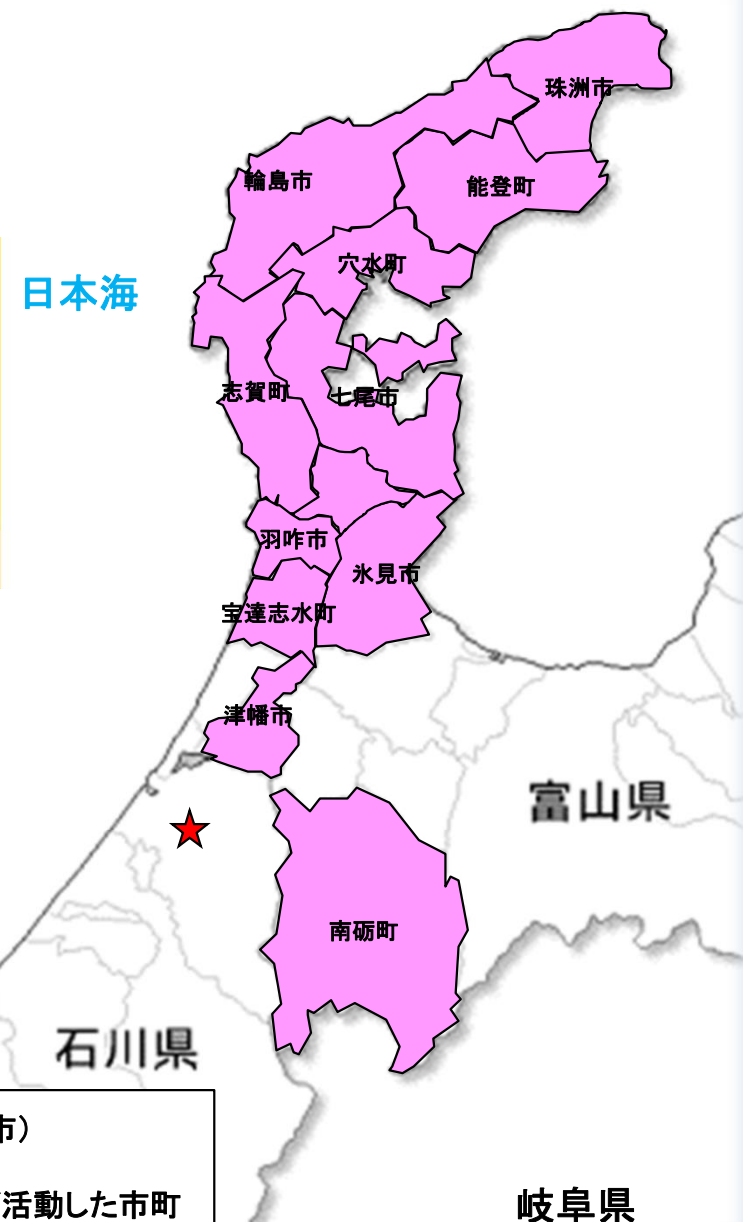
- ・令和6年1月4日～令和6年6月28日
- ・近畿農政局職員が計77名（延べ890人・日）派遣



北陸農政局（金沢市）



近畿農政局職員が活動した市町



令和6年能登半島地震における近畿農政局職員のMAFF-SAT活動

派遣先での主な支援内容

- ・国営氷見地区パイプラインの被災状況調査
- ・防災重点農業用ため池の被害状況調査
- ・被災した農業用ため池の二次被害を防止するため、水位低下作業の実施
- ・農業集落排水施設及び営農飲雑用水の被害状況
- ・農地農業用施設の被災状況調査
- ・北陸農政局の現地対策本部の運営補助

等

被災状況調査の様子



現地にて農地や農業用施設の被災状況（箇所、面積）の調査を支援しました。
また、収集した情報から被害額の算定の支援を実施しました。

氷見地区のパイプラインはダム・ため池から農地まで水を送るため施設です。長さは上庄幹線水路は14.6km、南条幹線水路は7.28kmあります。

震災によりパイプラインに破損がないかの確認や充水試験（ダムから水を送りパイプラインを水で満たす）を実施し、再び農地へ水を送るための支援を行いました。

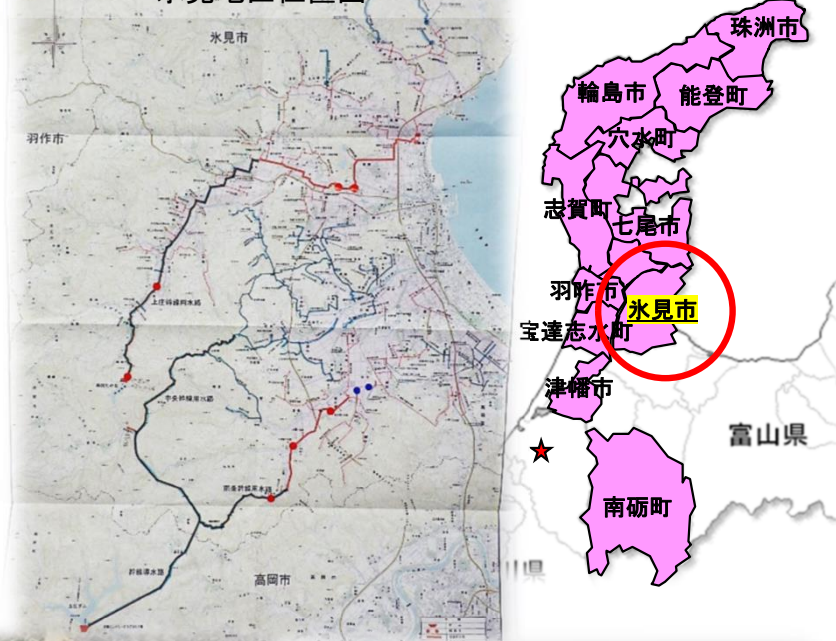
氷見地区の支援内容

かんがい排水事業

- ・県名 富山
- ・関係市町村 氷見市 他
- ・事業年度 S52～H4
- ・主要工事 ダム1箇所
頭首工1箇所
排水機場1箇所
用水路36.0km
農地造成30.0ha

北陸農政局設計課HPより

氷見地区位置図



パイプラインの被災状況確認・充水試験の様子

MAFF-SATの活動（過年度の活動事例）

②緊急概査

ため池の現地調査



近畿農政局の職員が現地調査し、被災状況把握の支援を行います。

ドローンによる被災現場の撮影



ドローンによる撮影を行い、被災状況把握の支援を行います。

ドローンで撮影したデータを基に被害面積等を算出し、概算復旧金額算定の支援を行います。



③技術支援

打合せの状況



復旧計画の検討にあたり、技術的な支援を行います。研究機関（農研機構）と合同で調査を行うケースもあります。

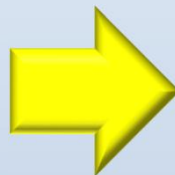
排水ポンプ車の派遣（過年度の活動事例）

近畿農政局保有の排水ポンプ車等を被災現場に貸出

緊急の場合、近畿農政局が保有管理している、災害応急用ポンプ、排水ポンプ車等を貸出しています。

令和5年5月7日～8日の豪雨によりため池の堤体が崩壊した。

MAFF-SAT派遣により二次被害防止のため応急ポンプによる貯水水位の低下作業を行った。（5月9日）

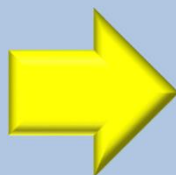
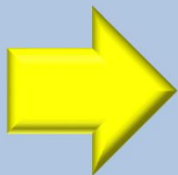


ため池の堤体は川や谷を横断し、土を盛り立てて造られる構造物です。堤体の上流から流れてくる水をせき止め、堤体と堤体上流の地山で囲まれた空間（貯水池）に水を貯めるという働きをします。

貯まった水が崩壊した堤体に作用し、二次被害を引き起こす危険性があります。ポンプ車を使って貯まった水を排水することで二次被害を防止しました。

応急工事として、ブルーシートを敷設した。
（5月11日）

復旧状況（市による復旧工事が完了）



被災部分に雨水がかかり、崩壊が大きくなる危険性があります。その一時的な対策として、ブルーシートを敷きました。

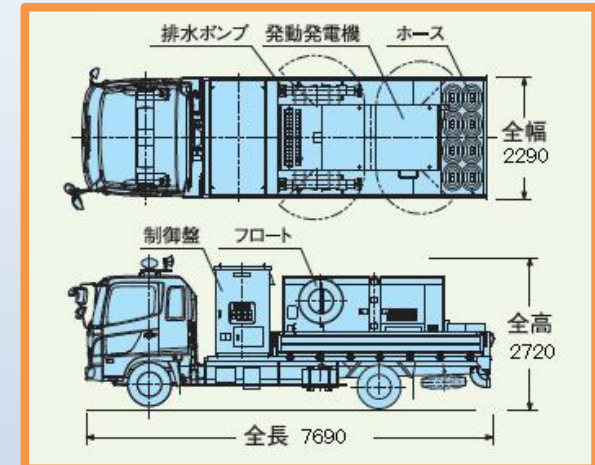
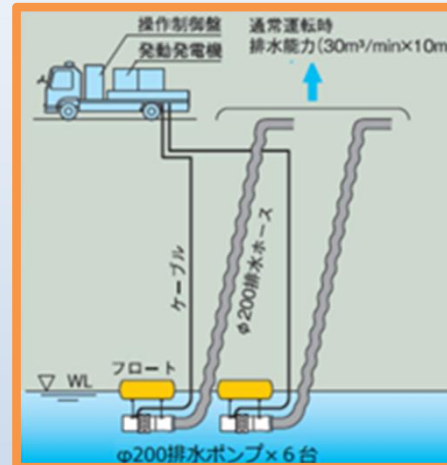
和歌山県橋本市長より
近畿農政局のポンプ車
の派遣に対して感謝状
を頂きました！



排水ポンプ車（土地改良技術事務所に配備）

排水ポンプ車の仕様

- ・ 排水量：30m³/分（全揚程10m時、6台運転）
- ・ 車 両：8 ton級車両（総重量7,950kg程度）
- ・ ポンプ：水中モーターポンプ Φ200mm×6台
1台あたり排水量 5.0m³/分（全揚程10m時）
1台あたり重量 35kg程度（ケーブル除く）
- ・ 発電機：125kVA（ディーゼルエンジン）
- ・ 付属品：ポンプ用電源ケーブル 40m×6台
排水ホース Φ200mm×（20m+10m）×6台
ポンプフロート×6台、ハログゲン照明灯×1基



○【令和7年5月7日(水)～5月30日(金)】

近畿農政局 1階「消費者の部屋」

での展示の様子】

